

給食費の減免等子どもへの貧困対策の充実を

町長 給食費の一部無償化等について検討の余地



原田 芳男 議員

一部無償が5町となっている。

同規模町村の動向を踏まえ一部無償化等について検討の余地があると考えてる。

子ども食堂は全国で300、道内では12カ所です。本町でも出来ないものか一考を要するものと思う。

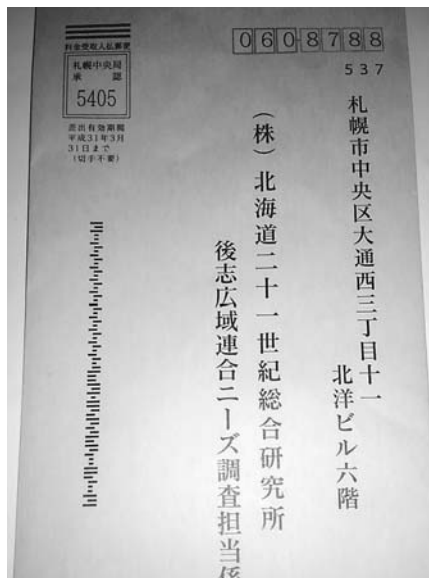
原田 子どもの貧困問題は全国的な問題であり子ども食堂や、給食費の減免・無料化の取り組みが広がっている。我が町の取り組みはどのようになっているか。

町長 中学生までの医療費の無料化・子育て支援の出産祝い金・中学卒業就職等祝い金や赤ちゃん訪問時のガーゼハンカチのプレゼントを実施している。学校給食費の無料町村が全道で14、後志で2町村

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

原田 後志広域連合は平成30年から介護保険「第7期事業計画」の策定のためと調査を行っているが、住民からどうして無記名でないのか、札幌の会社などと、疑問の声が寄せられている。個人情報漏洩など大丈夫か。

町長 平成30年から第7期事業計画策定のためプロポーザルで業者を決定し、広域連合との契約により個人情報の取り扱いには万全を期すこととなっている。また、町の介護事業にも役立てる。説明不足の点は今後改める。



ニーズ調査

都市公園におけるフロートレイルについて

原田 都市公園は国の法律と町の条例で位置づけられる、市民のシンボルである旭ヶ丘公園でのフロートレイル事業に市民の苦情と批判が寄せられています。フロートレイル事業に反対しているのではなく、他で行ってほしいと思っている。

町長 事業そのものは町の事業であり国の補助事業で観光協会に事業委託をしたもの。今後、フロートレイル事業については園路の修復、整備完了後に旭ヶ丘公園の本来の目的に支障を来すことなく、園路機能を壊さないようフロートレイルコースとして利用できるか協議を行い可能性があれば園路利用者との住み分けも含め実証事業として進めたい。

一般質問 原田 芳男

学校図書の充実が次世代を担う子供の教育に絶対必要

原田

学校図書の充実が子供の教育のために豊かな人間性を育てるためにも欠かせない。

26年度の決算では基準財政需要額たいして44・9%であり不十分。充実が必要では。

教育長

昨年度文科省が策定した学校図書観ガイドライン・学校図書整備5カ年計画などを踏まえ学校との連絡を密にしながら学校図



俱知安小学校図書室

書の充実につとめていきたい。